

# 下肢静脈瘤の手術 入院療養計画表(2)

様

主治医

看護師

退院基準		1. 疼痛をコントロールできる 2. 創部に感染がない 3. 発熱がない 4. 食事が70%以上摂取できる 5. 手術前と同様に身の回りのことが自分でできる				
外来	入院当日 ( / / )	手術当日(前) ( / / )	手術当日 ( 後 )	術後1日目 ( / / )	術後2日目 ( / / )	術後3日目 ~ 退院
<b>検査</b> ●血液検査 ●胸部・腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 ●肺機能検査 上記の検査を行います。 ●麻酔科外来を受診していただきます	●動脈からの採血があります。(血液中の酸素濃度を調べます) ●左手に点滴用の管を入れます。	●朝7時頃、洗腸を行います。 ●リストバンドを付けます。	●手術直後は15~30分毎に検温しますが、その後は、1時間毎になります。 ●酸素カニューラ、心電図モニター、血液中の酸素濃度を測る機具をつけます。 ●採血とレントゲン撮影があります。 ●ガーゼ交換をします。	●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●酸素マスク・心電図モニターを外します。 ●採血、レントゲン撮影があります。 ●ガーゼ交換をします。	●回診時、傷のチェックをします。	●傷のチェックをします。
<b>薬剤</b> ●普段内服している薬がありましたらお知らせください。	●下剤2錠を夜9時に内服してください。	□8時から点滴を始めます。 ●手術室に行く前に注射をします。	●点滴を行います。 ●痛みがある時は痛み止め熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。 ●手術中に背中から痛み止めの管が入ることもあります。			
<b>安静度</b> ●普段通りの生活ができます。	●病棟内歩行できます。	●ベッドで手術室に入室します。	●ベッド上安静になります(寝返りはできます)			
<b>排泄</b> ●制限はありません。	●制限はありません。		●手術中に尿を出すための管が入ります	●尿の管を抜きます		
<b>清潔</b> ●入浴できます。	●手術する部位の毛を剃り(必要な人だけ)お臍の掃除をしますその後、入浴してください。	●化粧や油分の多いクリームはつけないで下さい。 ●時計、アクセサリー、入れ歯は外してください。		●体を拭き、パジャマに着替えます。	●体を拭きます。	●シャワー浴の許可が得ます。(術後6日目から)
<b>食事・栄養管理</b>	●食事は、夕食まで食べられます。水分は(夜中0時)から控えてください。	●水や食事を摂ることはできません。 	●個室後、3時間後より水分をとることができます。その後むかつきがなければ食事をすることができます			
<b>説明指導教育</b>	<手術の必要物品> ①バスタオル1枚 ②ティッシュペーパー1箱 ③水のみまたはコップと曲がるストロー ④紙パンツ1枚(280円) ⑤入ればのある方は蓋付きの入れ物 ※ひとつずつに名前を記入して下さい 	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(主治医・看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師からお薬の説明があります。 ●仰向けで深呼吸の練習をしてください ●眠れない時は、看護師にお知らせ下さい。	●手術室に入室する30分前にうがいと排尿を済ませ下さい。その後、手術着・紙パンツに着替えます。 ※手術室に入室する時間(時 分の予定) ※ご家族のかたは、手術が始まりましたら、面談室でお待ち下さい。 ※ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。(看護師が案内します)	●手術後はHCU(重症個室)へ入室して頂きます。 ●状態が落ち着きましたら元のお部屋に戻ります ●目が覚めたら、深呼吸をしてください。 ●痰は飲み込まずに出してください。 ●座る練習から始めます。最初は医師が付き添います。調子がよければ徐々に歩いてください。 ●手術後、ご本人へ主治医から結果説明があります。	※弾性ストッキングの使用目的 起床時に着用することで足の血流促進につながり、手術後におきる足のむくみやだるさを予防してくれます。 注)手術後の着用開始時	●退院時療養計画書をお渡しいたします。 ●退院後1週間後に1度外来診察が必要でです。

※この用紙は入院時に必ずお持ちください。